

2012年4月16日

関係者 各位

「高等教育と学位・資格研究会」(EQ研)
代表 吉本 圭一(九州大学・主幹教授)

「卒業生のキャリアと学校評価に関する調査プロジェクト」参加のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本研究会では、科学研究費(基盤研究A)「非大学型高等教育と学位・資格制度に関する研究」の研究課題のもと、これまで各機関へのカリキュラム調査、教員と教育組織の調査などを手がけてきました。調査等にご協力いただいた皆様には、ここに改めて御礼申し上げます。

さて、このたび本研究会では、高等教育機関の教育改善や学生募集に求められる点検活動(IR)を支援するために卒業生を対象とした調査プロジェクトをご提案させていただきます。この調査は、卒業直後から10年目までの初期キャリア形成の実態把握を行い、卒業生の視点から見た母校在学中の教育・学習経験に対する評価を問うものです。調査プロジェクトの特徴は、web調査システムの基本的開発を本研究会が行い、各教育機関がそれを活用して自ら卒業生調査を実施し、教育活動の点検・評価を行うものです。すなわち、単なる調査分析だけにとどまらず、そこから得られた知見を各機関の教育の充実・向上に繋げていくことです。調査参加校が相互に連携しつつ教育改善を進められる、研究と実践の連携・協力による調査を本研究会としても支援して参りたいと考えております。

そこで、下記のとおり全国4会場で調査プロジェクト説明会を開催いたします。ご関心をお持ちの高等教育機関の皆様は、「回答票」に必要事項をご記入の上、各会場の説明会開催3日前までに、Faxもしくはメールにてご連絡いただければ幸いです。何とぞご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【第1回説明会(福岡会場)】

- ・日時 2012年4月27日(金) 11:00-12:00 (受付10:45)
- ・会場 久留米大学福岡サテライト(福岡市中央区天神1-4-2号エルガーラオフィス6階)

【第2回説明会(大阪会場)】

- ・日時 2012年5月11日(金) 11:00-12:00 (受付10:45)
- ・会場 大手前栄養学院専門学校(大阪市中央区大手前2-1-88)

【第3回説明会(東京会場)】

- ・日時 2012年5月18日(金) 11:00-12:00 (受付10:45)
- ・会場 九州大学東京オフィス(東京都千代田区有楽町1-10-1有楽町ビル6階605-606区)

【第4回説明会(札幌会場)】

- ・日時 2012年6月15日(金) 15:30-16:30 (受付15:15)
- ・会場 北海道大学 情報教育館4階・共用多目的教室(2)(札幌市北区北17条西8丁目)

※研究枠組みを総合的に協議した国際ワークショップ(平成21(2009)年度実施)のワーキングペーパーを刊行しました。送付希望の方はご連絡ください。

※短大・専門学校の教員を対象とした「高等教育における教員と教育組織に関する調査」の結果概要はwebsiteで公開中です。

(<http://eq.kyushu-u.ac.jp/formoutline.html>)

以上

<本調査プロジェクトに関する問い合わせ先>

「高等教育と学位・資格研究会」(担当:江藤、川俣、片山、張、)

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学人間環境学研究院 教育社会学研究室

e-mail : eduqual02@gmail.com / <http://eq.kyushu-u.ac.jp/>

Tel/Fax: 092-642-3125、4355

「卒業生のキャリアと学校評価に関する調査プロジェクト」
第1回説明会（福岡会場）

・日時 2012年4月27日（金）11:00-12:00

久留米大学 福岡サテライト

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目4番2号 エルガーラオフィス6階

電話：092-737-3111 FAX:092-737-3112



← 入口

【最寄り駅からの所要時間】

地下鉄空港線「天神駅」より徒歩5分
地下鉄七隈線「天神南駅」より徒歩1分
西鉄「福岡（天神）駅」より徒歩2分
天神バスセンターより徒歩3分

【最寄り駅からの行き方】

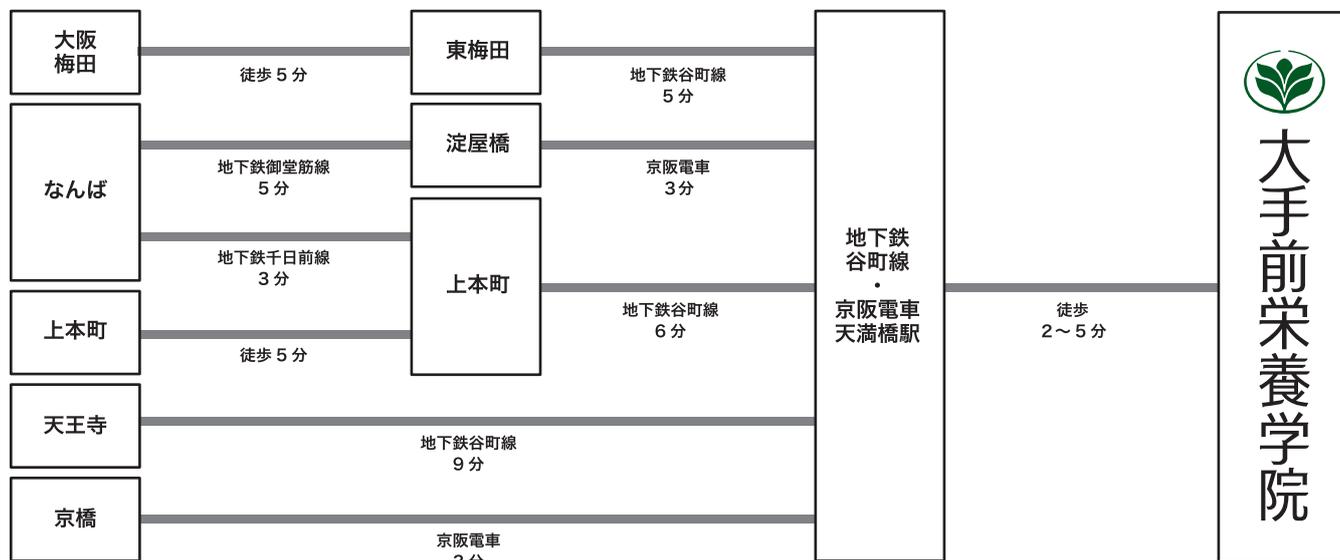
国体道路と渡辺通りが交差する渡辺通4丁目交差点の角に「大丸」福岡天神店があります。
「大丸」福岡天神店のエルガーラ東館と国体道路沿いで隣接しているビル（エルガーラ オフィス棟）になります。



■所在地
〒540-0008 大阪市中央区大手前 2-1-88 電話番号：06-6941-7698

■アクセス
京阪天満橋駅 / 地下鉄天満橋駅
① 3号出口をめざす→地上に出たら左に曲がる→② 谷町1丁目交差点を左に曲がる(大手前学園の文字が見えます)→徒歩約2分で到着

交通アクセス



「卒業生のキャリアと学校評価に関する調査プロジェクト」
第3回説明会(東京会場)

- 日時 2012年5月18日(金) 受付 10:45
説明会 11:00-12:00
- 会場 九州大学東京オフィス
〒100-0006
東京都千代田区有楽町1丁目10番1号 有楽町ビル6階 605-606区
電話(03)3211-8825



九州大学 九州大学東京オフィス

東京における
九州大学の拠点



■最寄り駅・所要時間

JR有楽町駅から徒歩1分(有楽町駅正面)

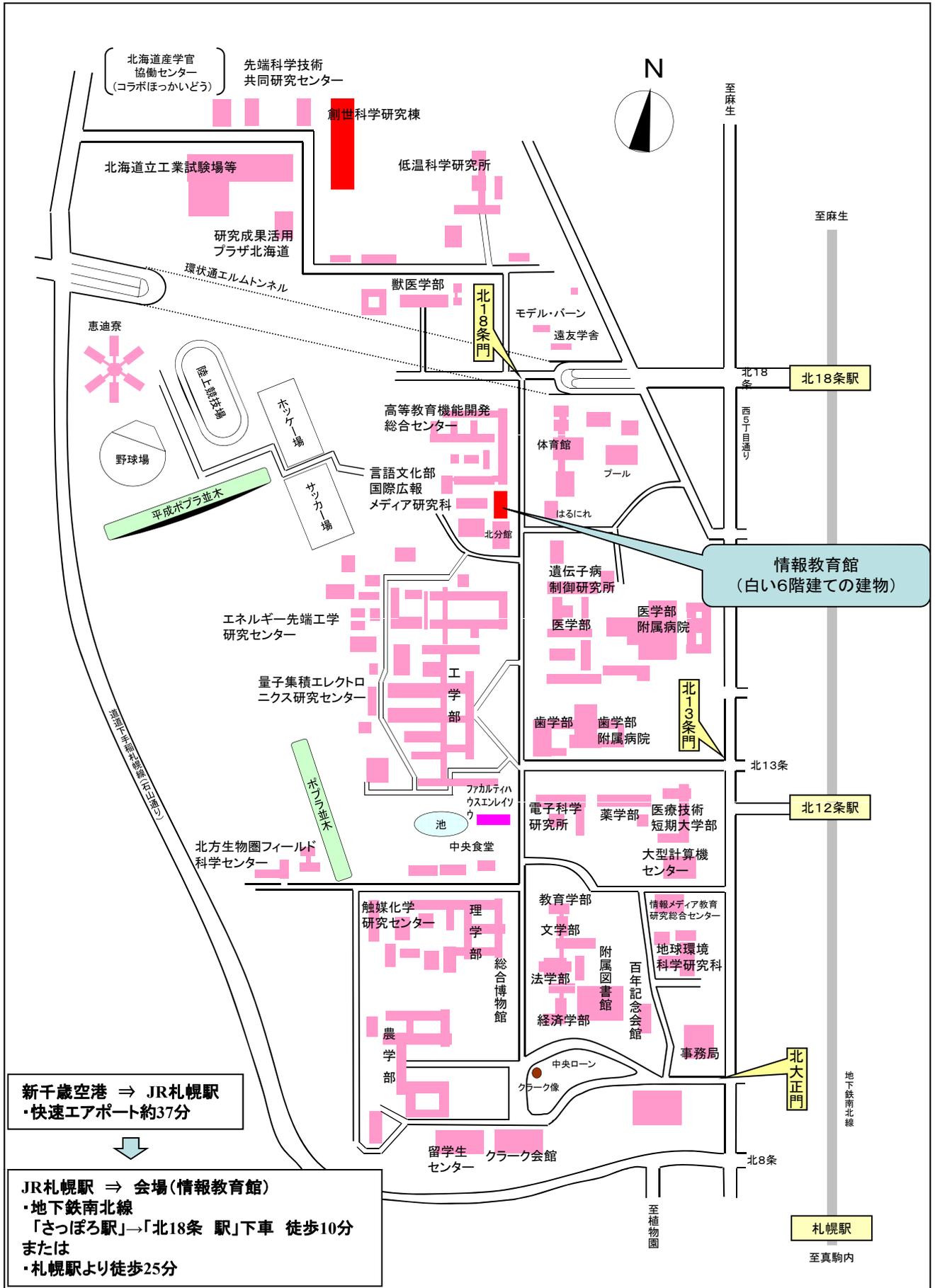
日比谷線日比谷駅・有楽町線有楽町駅・都営三田線日比谷駅から徒歩3分

■周辺施設

有楽町電気ビル, ビッグカメラ, 東京国際フォーラムなど



北海道大学 校内地図



探究すべき課題	調査と評価・改善プロセスのデザイン		備考
<p>1 学校評価・教育改善のための研究(IR)の推進</p> <p>A 各機関の教育評価への取組(自己点検・自己評価=大半は既に行われているが?)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育理念や人材養成目的・目標の設定 2 教育活動の実施と授業評価 3 FD・SDと教育改善 4 学外ステークホルダーとの対話 5 組織のガバナンス <p>B 各機関の教育評価への取組(学校相互評価=新しい質保証の課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卒業後のキャリアの探究 2 キャリアと学校の学習プロセスとの関連 ↳全国的な卒業生調査への参加 	<p>各機関のIRとしての分析・評価・改善のステップ</p> <p>卒業生は、学習成果でもあり、学習プロセスの評価者でもあり、学校の応援団でもあり、将来的潜在的な学習需要でもある。</p> <p>卒業生調査の実施、学生の特性による違いの抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ↳ 全国的な動向との比較 ↳ 他校との比較(ベンチマーキング) ↳ 学校間での相互評価 	<p>調査項目</p> <p>①機関の総合評価・効用認識、②教育活動の各要素の充実度と評価、③入試や入学時の選択</p>	<p>個人情報の保護</p> <p>各機関の到達目標と教育の特質理解</p> <p>相互評価のためのグループ化</p>
<p>2 初期キャリア形成と各機関の教育効果についての解明</p> <p>A 卒業生のキャリア形成、コンピテンシー、社会的自立=学習成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等教育とコンピテンシー形成 2 キャリア探索と社会的自立、後期青年期 <p>B 短期高等教育と社会的評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 短期高等教育と卒業生への社会・労働市場評価 2 都市-地方の分業と分断化 <p>C 高等教育経験の社会的効用の時間軸</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等教育と労働市場経験による能力蓄積 2 修了者の労働市場経験 3 高等教育の効用の逓減や逦増 	<p>調査実施とサンプル</p> <p>適切な専門分野構成と分野別の検討</p> <p>適切な機関分布(地域、社会的評価)</p> <p>複数卒業年次を調査(対象年次は協議事項)</p> <p>2012年調査 2012年卒=卒業後0.5年=21歳(2年課程), 2008年卒=卒業後4.5年=25歳, 2004年卒=卒業後8.5年=29歳</p> <p>将来的には、パネル調査(4年ごとの実施)について検討</p>	<p>調査項目</p> <p>①キャリア、獲得・活用するコンピテンシー、家族生活、②高等教育の学習・生活、③高校までの条件</p> <p>①職場と就業上の地位、②学習・学力、就職活動、③入学前の本人・家庭の状況</p>	<p>各機関による高等教育客観指標の追加</p> <p>世代、年齢段階、時代の違いを弁別すること</p> <p>項目の時系列的一貫性</p>
<p>3 自己点検と相互評価から教育改善(IR)</p> <p>A 高等教育メカニズムを理解した総合的な点検・評価活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入口-プロセス-学習成果-キャリアモデルによる機関別評価 2 学術モデルとの偏差とベンチマーキング <p>B 各機関の教育改善</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 点検活動から教育改善、教育理念強化 2 新たな学習需要、応援団としての卒業生 	<p>各機関の自己点検から相互評価、教育改善のステップ</p> <p>全体データの総合分析との「ずれ」にもとづく強み弱みの分析</p> <p>学校間の相互評価活動</p> <p>機関内でのIRにもとづくPDCAサイクルの確立</p> <p>ステークホルダーとしての卒業生、企業等との対話</p> <p>マーケティング戦略の確立</p>	<p>調査項目</p> <p>①リカレント学習への関心、②母校への関心や教育理念への共感、③同窓会への関与</p>	<p>データ利用の相互承認</p> <p>卒業生、企業とのフォーラム</p> <p>教育理念、到達目標、方法、統制の構築</p> <p>調査プロジェクトからのコンサルティング</p>

1. スケジュールと主なタスク

【2012年度】	内容	貴機関のタスク	九州大学研究会事務局のタスク	備考
2012年 4～6月	調査プロジェクト説明会 4/27 福岡 5-6月 東京、大阪、札幌での開催を予定	説明会の参加	基本調査票の設計、開発	
7月	調査プロジェクト参加機関の確定 調査票の機関別、分野別の項目・内容調整	調査項目・内容検討への参加(メール会議等)	分野別の項目内容調整	
8月	調査票の確定 調査実施の準備 各機関のHPへの調査案内文作成	同窓会等関係者への調査協力の依頼・確認 対象者名簿の整理・更新	webシステムの完成 プリテスト web調査システムの開通	平成22年卒、平成17年卒、平成12年卒の卒業生数の確認
9月	web調査開始	調査依頼ページを各機関のHPに作成 調査票の印刷 送付用資料・封筒等の印刷	HPテンプレートの作成 アクセスコードの発行 webシステム開通	
10月	↑ ↓	卒業生への調査依頼(第1回) 卒業生からの問い合わせへの対応開始	調査項目・システムに関する問合せ対応開始	
11月		卒業生への調査依頼(第2回・ハガキによる督促)	回収状況・督促対象の確認	※第1回締切:2012年10月末日(予定)
12月		卒業生への調査依頼(第3回・ハガキによる督促)	回収状況・督促対象の確認	※第2回締切:2012年12月中旬(予定)
2013年 1月	web調査完了(予定)			※第3回締切:2013年1月末日(予定)
2月	基礎集計		データの点検	
3月	集計のフィードバック		基礎集計の各機関への報告	
【2013年度】 2013年 4～12月	総合分析 参加機関相互の点検評価と各機関の教育改善 公開研究会	参加機関共同による分析検討 学内での点検・改善活動の実施 公開研究会への参加	キャリアと学校評価に関する実証的分析 点検・改善活動への協力・支援 公開研究会の企画・準備・運営	

2. 費用負担

<p><u>1) web調査システムの開発</u></p> <p>a) 九州大学研究会事務局:基本システムの開発</p> <p>b) 各参加機関:個別分野・学校に応じた調査内容の修正・加除 web調査システムの管理費用として5万円程度、各機関の負担が必要になります。(基本管理費用・アクセスコード管理、調査結果データの提供など)</p> <p><u>2) 卒業生への調査依頼</u></p> <p>a) 九州大学研究会事務局:アクセスコードの確認</p> <p>b) 各参加機関:対象者名簿の整備、調査票の印刷、卒業生への郵送での依頼</p> <p><u>3) 調査実施中</u></p> <p>a) 九州大学研究会事務局:調査項目についての質問、アクセスコード等のシステムに関する質問への対応</p> <p>b) 各参加機関:調査主旨などについての質問への対応</p> <p><u>4) 集計分析と点検評価、教育改善</u></p> <p>a) 九州大学研究会事務局:基礎集計・分野別集計の作成と分析、公開研究会の実施</p> <p>b) 各参加機関:各機関分の集計、相互評価のための分析、各機関の教育改善(九州大学研究会等での専門的な支援協力は可能)、公開研究会への参加</p>
